

[Insert your research title here]

[Insert your name and affiliation here]  
August 1-12, 2016

SEND プログラムの主要な目的には二つあり、日本の文化について視野を広めることと語学力を向上させることがそれにあたります。一つ目の文化については、そのより良い理解のため、講義だけではなく実際に様々な活動と見学の機会が提供されました。例えば、京都の歴史や日本の学校教育から見た日本文化についての講義などです。印象に残っているのは、野球というスポーツ教育の場に表れる、チームからの精神的な援助と協力です。これは日本文化の特徴の一つだと感じました。また、特に興味深いと感じたのは、俳句に反映される日本の美的観点に関する講義内容でした。講義に加え、書道という伝統芸術に触れ、自分で選んだ漢字を書いて作品を作りました。学外研修として、伏見稻荷や平等院をはじめとする京都にある文化財の見学と、和菓子作りの体験をおこない、さらに様々な寺社を訪れました。また、京都府内の美しい農作地の見学、野菜収穫体験、餅つき体験などもおこないました。二つ目にあたる、日本語の語学力向上のパートについては、アニメの中に現れるキャラクターの発話を聞き取る練習を主におこないました。さらに、日本語に見られるウチとソトという特徴についての講義、共同発表の場などが提供されました。

日常生活の中で日本語を使っていたため、習ったことを実際に使う機会が多くありました。タイ語と日本語の間には単語の並べ方に関してたくさんの相違点があるため、話す際には、頭の中で言いたい内容の順番を全て整えなければならず、当初はうまく話せませんでした。しかし、会話の機会を重ねるにつれ、以前よりも日本語の運用に慣れてきたことを実感しました。また日本語学を専門とする先生方に教わったおかげで、たくさんの新しい単語や表現を習得することができました。

さらに、今回は初めての来日なので、見学や講義以外に、日常的な出来事も勉強になり、良い経験になりました。例えば、神社に行った際、最初はお祈りの方法がわかりませんでした。日本人学生の友人に教えてもらうことができました。一年に一回だけ行われる花火大会では、浴衣を着た人が大勢いて混雑していましたが、美しい花火を見ながら日本の夏の雰囲気を楽しむことができました。また、異文化について考えさせられました。自分の国ではごく普通のこと、日本であればタブーになってしまうことがあります。このような異文化体験を頼りに、異なる文化を理解することは重要だと感じています。

このプログラムに参加し経験したことは、将来非常に役立つと思います。このプログラムに参加することで、自分の希望を確かめることができました。二週間という期間は短いのですが、この短期間のあいだに、長期間の日本での生活に置かれた仮の自分を想像し、日本語に飽き飽きするかどうか観察していました。しかしながら、全くそのようなことはなく、日本語学科での進学という今後の進路については、迷いが一切無くなりました。